

## 令和5年度 創立記念のごあいさつ

今年度、富山県立高岡商業高等学校が創立126年目を迎われますことを、誠にうれしく思います。日頃から、本校へのご理解とご支援をいただいております双龍同窓会の皆様をはじめ、関係各位の皆様には、厚く御礼申し上げます。

本校は、明治30年6月7日、高岡市立高岡簡易商業学校として創立以来、明治、大正、昭和、平成、令和という5つの時代を、たくましく乗り越えてきました。とりわけ、昭和32年以降は、現在の富山県立高岡商業高等学校として、時代の進展に即した商業教育と数々の実績を残しながら、単独商業高校としての存在価値を高めてきました。

これも、県内外の各界・各層で活躍される、2万4千名を超える双龍同窓生の皆さま方のご活躍、ご尽力の賜と、敬意と感謝の気持ちを表したいと存じます。この良き伝統は今もしっかりと継承されており、ビジネスに関する学習、部活動、地域・企業との体験・交流の取組をはじめ、教育活動全体を通して、「人づくりの高商」を実践しています。

本校には、歴史と伝統に培われた「信頼」と、他校にはない人づくりの「魅力と実績」が社会で高く評価され、「高商ブランド」として揺るぎない価値があります。コロナ禍での制限や様々な困難があっても、高商生は文武両道の精神で、部活動や進学・就職、検定取得など素晴らしい成績をあげてくれました。どんな状況にあらうとも、素直で前向きに、何事も諦めず粘り強く取り組んできた生徒を誇らしく思います。また、それらを熱心に、ひたむきに、一丸となって指導していただいた教職員にも、敬意を表したいと思います。この良き校風は、これまでもこれからもずっと引き継がれると確信しています。

世界や身近な社会は不確実な時代に入り、正解のない多くの課題に直面しており、よりよい解決策を自ら考え、分析し、実行できる力が、今求められています。高商は、今後とも社会変化や教育改革に適切かつ柔軟に対応し、誰からも信頼され、尊敬され、応援してもらえる学校を目指して、地域社会に根ざし、貢献できる人材を育成してまいります。

関係各位におかれましては、益々のご健勝とご活躍をご祈念申しあげますと共に、今後とも、本校の教育活動に、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

令和5年6月7日

富山県立高岡商業高等学校  
校長 中田嘉幸